

## 第17回伊豆下田元気塾アンケート結果

### Q1 参加してどうでしたか？

(基調講演)

大変良かった	51名 ( 87.9%)
まあまあ良かった	6名 ( 10.3%)
普通	1名 ( 1.7%)

### Q2 5名の方のお話を聞いて、あなたが一番印象に残った事は？

- ・青森さん「80代は社会貢献の時代」  
寺田さん「伊豆から世界を狙いませんか！」  
近藤さん「(黒根岩風呂)北川だけでなく、東伊豆町ひいては伊豆の宝と思って運営してきた」  
津留崎さん「地方には生きるための知恵と豊かさがあった」  
白輪さん「いつ来ても何か新しいところがあるように、毎日手を加えている」  
感動的なお話ばかりでした！これからの自分の行動に役立たせて頂きます！
- ・伊豆をこんなに愛してくれる人、嬉しいね、人の流れをつくるスゴイ！と思いました。頑張れ若者です！  
近藤社長、聞きやすい、イイネ！話だけで癒されました！北川、頑張れ！  
津留崎さん、下田に住んでいる私、無駄に過ごしている自分が恥ずかしい。  
3年で下田をこんなに見て、そして感じて、下田を発信して下さる津留崎さん、これからも下田をよろしく！  
白輪氏の経営学、人を育てる…そんな熱意の中で、本当に動物を愛している事が切々と伝わってきました。机上の教育ではなく、体験者のプロが講師となる(イイネ!)懐の大きい白輪社長、頑張って！
- ・5名の方、それぞれ印象的であった。  
人生百年！生涯現役！・民芸品の製作・販売 ・ワンコインの食事  
・25人の仲間、68人の物作り  
・500円時給、バービー人形  
・運営とアイデアの素晴らしさ  
地域おこし協力隊 ・伊豆半島は世界一！  
湯守人のおもい ・黒根岩風呂の改修

移住者の方に伊豆を教わる ・伊豆（下田）の良きPR  
学校開設！伊豆に若者を！ ・飼育員の育て方 ・学校の中に動物を飼う  
・スタジオを作った ・経営手法の素晴らしさ

- ・ 5名の方それぞれ、とても良かったです。  
協力隊の寺田氏の「伊豆は世界一!!」との言葉にとてもワクワク致しました。  
津留崎さんの伊豆の写真もとても印象的で良かったです。  
これからも、もっともっと伊豆の魅力を発信してほしいです。
- ・ 白輪さんの話は、わかりやすく、人柄なのか、なるほど！と思わせる。  
伊豆各地で、それぞれの思いで地元を応援しながら元気になる。  
青森さんの「居場所をつくる」は誰もが必要であり、それは自分の居場所にもなる。  
夢はあるにしても、経済に繋がらない事には未来がない、どの話も伊豆に  
繋げ、伊豆で暮らす事を楽しみながら…を改めて考えさせられました。
- ・ 途中から聴講したので全ての話を聞けませんでした、  
津留崎さんとは、同じ移住者として、ゆっくりお話をしてみたいと思いました。
- ・ 津留崎さん、伊豆、人の写真…とても魅力的でした。
- ・ 白輪さん、モンキーベイ、楽しみです！
- ・ 白輪さんの話が印象に残りました。(同様8人)
- ・ 津留崎徹花さんの話が印象に残りました。(同様1名)
- ・ 「湯守人のおもい」の話が面白かった。(同様3人)
- ・ 人と人との繋がりが大事、色々な事に挑戦できる。
- ・ 仕事は楽しく、チャンス、チャレンジ、チェンジ…。
- ・ 地域おこし協力隊と白輪社長の話が印象に残った。
- ・ 近藤社長の「最後は人」ということ。
- ・ 伊豆から世界を狙ってみませんか？
- ・ 年金者が出資して自分たちでやる、補助金は受けない、目標時給 500 円、  
長く続くコツを教わった。自分も73才、まだまだ頑張れる。  
北川、まだまだ頑張ります。  
白輪さんの人材育成の熱意、熱い想い、地域再生…。
- ・ 伊豆が美しく、そして可能性がたくさんあるということ。
- ・ 伊豆のあたりまえが、あたりまえではなかった。
- ・ 青森さんの年齢を感じさせない取り組み、素晴らしいと思いました。
- ・ 地域おこし協力隊の話が印象に残った。

- ・伊豆には、まだまだ知られていない魅力がたくさんあることを知りました。
- ・それぞれの話に特色があり良かった。
- ・それぞれの個性があり、楽しかったです。ありがとうございました。
- ・人生楽しく、自分を生かす、楽しく生きる方法が明確になりました。
- ・2部のお二人しかお話を聞けませんでした。お二人とも、わくわくしながら、楽しみながらお仕事をしているという事が印象的でした。
- ・下田の楽しい話を聞いて良かったです。
- ・皆さん、勇気をもって講演下さって、ありがとうございました。
- ・蔵らさんには、月に1~2回、主人と共に利用させて頂いておりますが、毎回、青森さんに元気を頂いております。今回、聴講会で初めて、細かいお話をお聴きしましたが、時給500円(10年間で)は数回、しかも、最初は時給190円スタート?も驚かされましたが、84歳で社会貢献、高齢者を起用しての様々な物作り、名人の特技を活かし、好きな事を自由にできる環境作りからの有償ボランティア、クラウドファンディングを利用してのまゆ最中作り…若い我々でも追いつかないほどの好奇心と積極性による地道な活動に深く感動!私自身とこれからの日本の高齢者の生き方について、本当にわかりやすく学べました。私にもできる事があれば協力したいです。
- ・津留崎氏の伊豆への当初の印象と住んでからの印象の違い。  
白輪氏の波勝崎の猿への視点。  
北川の岩風呂に入りたくなった。
- ・やっぱり人だと思いました。現状に諦めず、よりよい生活、人生に向けて、足を踏み出すか否か。そんな時、前へ、明日へ踏み出す人が、その思いが、人を動かす。伊豆の人々が、一人一人が環境に甘んじず、足を踏み出す事が出来るといいな。
- ・イズー様が伊豆全体を元気にしてくれているな!
- ・逆境に立たされたときの周りの協力、ひとつの言葉。  
小さくても1つの事を皆で作りあげること、モノではなく想いであること。
- ・バービー人形に着物を着せた発想は良かった。インターネットにのせてグローバルに売りに出す。又、着物の不用品が多いので、再生利用にも繋がっていくため、これからの展開が楽しみです!  
地域おこし協力隊の人員を自分の会社で使うことが出来る。但し3年間まで。
- ・津留崎さんの話を聞いて、まだ地元の方が気付いていない魅力的なコンテンツが眠っていると感じた。
- ・地域に対する愛情が5名の皆さま共、あると思います。  
美しい自然、環境の中で生きてると、心を育てるのだと思いました。
- ・伊豆の魅力の新発見がありました。 ・漁師のおばちゃん ・ニホンザル

- ・自分自身が、楽しく、ワクワクしながら仕事や町おこしに携わっていらっしゃる事が伝わってきました。
- ・津留崎徹花さんの話と下田の魅力。
- ・伊豆から世界一！波勝のサルがただ！

### Q3 あなたが「伊豆の再生」に必要なと思われる事は？

- ・地元の方々のやる気と元気。  
移住者の風とアイデア。  
それを受け入れる自治体や団体の器。
- ・移住者の増加促進。
- ・一人一人が環境に甘んじず、先を踏み出す事ができたら、小さな力が大きな力になっていくと思えます。「仲間」「地元」で固まると、見方、考えも近く、安心感もあるが、それだけに行き詰まってしまう。地元、よそ者、新参の区別なく、そんな力を加えて、共生共同で町づくりが出来たらいいな。
- ・インバウンドによる受け入れ体制。  
観光協会はもとより、市民一人一人が英語でのおもてなしを出来るような英会話教室 etc の開催や外国人と市民との交流会。
- ・自然のアピール。子供たちが外に出ていかないように又は出ても戻ってくるように。
- ・幼児からお年寄りまで、伊豆は言葉の壁が無いよって言われるくらい、英会話に特化した学習、サーフィンなど伊豆ならではの科目を学校の授業に取り入れるなど、伊豆の学校に転校すれば英会話が堪能になれる、独自の授業で楽しい伊豆留学、伊豆出身は英語が堪能!!など伊豆出身のブランド化。
- ・「誰かがやってくれる」「行政がやってくれない」等の思い、考えをやめる。  
危機感をもって、人口減少等にこだわるより、今ある伊豆の魅力を守ること。  
時代に合った発信方法を知ること等々、一人一人が「自分ごと」と自覚して官民の壁をもっと低く？薄く？して。
- ・年寄りの頭がやわらかくなる事！
- ・とりあえず参加すること。
- ・思いと行動。
- ・人
- ・自分が携わる事に愛情をもって、大切にすること。
- ・学校の誘致。
- ・地元に残る又は帰ってくる若い力。
- ・人材

- ・昔からある資源、まだまだ活用が不足している。  
新しいものばかりを求めない。
- ・アクセス、発信し続けること。
- ・話題性
- ・発想力、行動力。
- ・熱意と発想、「やるだけやってみない！」は心に残りました。
- ・人の流動（観光・仕事）
- ・知られていない魅力を、日本中、世界中に発信することです。
- ・関係人口を増やす。
- ・人口増加
- ・人口問題、移住等。
- ・わくわくすることを見つけていきたいと思います。
- ・一人一人が自分の場所で花を咲かせる事ですね。
- ・伊豆の住民が里山で生き生きと生活する事。
- ・美しい自然や風景と情報環境のマッチング。
- ・地域住民がまず地元を知ること。1市5町は一つであることの認識。
- ・町内外に関係なく、ビジネスマッチングによってシェアの拡大を図っていくことが必要かと思われる。
- ・特別ではないことを特別なコンテンツだとアピールすること。
- ・若者の方を入れていく為の仕組み。  
元氣塾講話を全国発信！→と感じる程、素晴らしい講話でした！
- ・伊豆を好きになる事だと思います。誇りに思える、感謝する心。
- ・接続可能な伊豆半島、1000年先まで守り伝えたい価値についてビジョンを共有すること。
- ・1市5町の合併。広い意味でのインフラ整備、日本一の水族館を建築すること、縦断道路の早期完成。
- ・地元にある宝に自分たちが気付き、それを暮らしの中で感じ、豊かに生きる。
- ・経営力の向上、ビジネスモデルの転換。
- ・思いと愛着、発想と経営センス。

#### Q 4 今後の元氣塾に取り上げてもらいたいテーマなどありますか？

- ・今日のような形でいいと思います。
- ・町づくり
- ・地域再生の成功、失敗例。
- ・昔も今も元氣な企業、その移り変わり。

- ・金儲けの話。
- ・観光地伊豆の人間として、観光客を相手に仕事をしている人たちの体験を聞きたいです。
- ・テレワーク、フリーランス
- ・石垣さん、色々ありがとうございます。今後も続けて下さい。
- ・伊豆在住の外国人の方から見た伊豆の良所。  
こうしたらもっとインターナショナルにアピールできる、これからの展望などなど、頑張っってコミュニケーションを図り、日々楽しく生活されている方のお話をお聞きしたいです。
- ・白輪氏のように普段接する事のない「プロフェッショナル」の生の話を聞くのは大変興味深いので、是非、そういう機会を作ってほしいです。
- ・賀茂地区農林水産業（第一次産業）のこれまでと今後の課題。  
課題に対してやるべきこと、やっている人の紹介、講演。
- ・伊豆下田の高校生の想い
- ・元気なお年寄りの知恵、しきたり、芸能を教えてくれる人を採用してほしい。
- ・伊豆で生きる私たちが世界に向けてアピールしたい価値。
- ・地元の YouTube など。
- ・どうしたら、大学卒業した子供たちが帰ってこれるか？
- ・貴重な機会をありがとうございました。
- ・年配の方々や企業で人を育ててきた方にでも、これからの人材育成や街づくり  
におけるプロジェクトについて、若い人たちの育て方。
- ・テーマを決めて、月 1 回程度の車座集会など企画して下さい。
- ・伊豆下田地区唯一の企業。
- ・経営セミナー